

カヤツリグサ科 ホタルイ属

# イヌホタルイ (犬蛭蘭)

*Schoenoplectus juncooides* (Roxb.) Palla

## 自生環境

水田、湿地、河川敷 など

## 原産地

日本在来

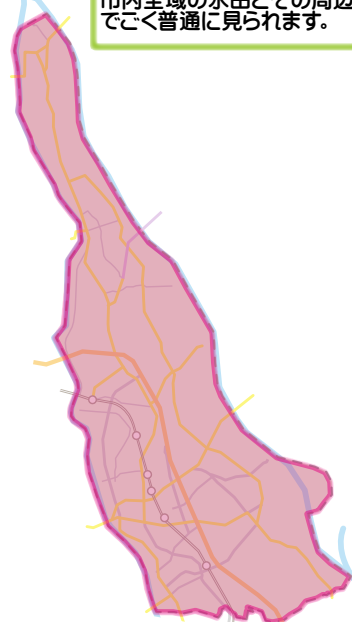
## 生育を脅かす要因



市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし湿地や水田に生えるため、埋め立てなどの人間活動が原因で、生育場所が失われてしまう傾向があります。

## 市内の分布状況

市内全域の水田とその周辺でごく普通に見られます。



## 特徴

- ☆ 湿地に普通に生え、水田内にもよく生えます。一年草または多年草とされますが、市内の水田地帯に見られるものは、一年草としての生活を送っていると考えられます。つまり、秋にタネをこぼした後は、越冬せずにそのまま枯れてしまいます。
- ☆ 夏から秋にかけて、やや緑がかった黄土色の穂をつけます。穂は茎の先端につきますが、そこから上に向かってつながるように苞葉がのびるため、穂はまるで茎の途中から出ているように見えます。
- ☆ ひとつの小穂は横から見ると、先がとがった楕円形のようなかたちです。それが4~9個ほどかたまると、まるで金平糖のようなかたちの穂を形成しています。穂は成熟すると、外側を覆う鱗片ごとタネが脱落して、バラバラになります。

## 農薬にととても強い

ホタルイは、ホタルのいそうなところに生えることから、その名がつけました。この仲間は、似たような種類がいくつもあります。本家ホタルイは、水のきれいな自然豊かな湿地に多く、農薬を使う水田地帯にはほとんど見られません。一方のイヌホタルイも、ホタルイと同じ仲間で、やはり湿地に自生しますが、こちらは除草剤への耐性を持っているため、水田内にもよく生えてきます。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

